

# from M

岸和田市郷土文化室(自然資料館(自然史担当)・郷土史担当・文化財担当)

平成 28 年 7 月 11 日

## ぜひ活用を！きしわだ自然資料館「アドバイザー」制度

風間 美穂

### 1. ご存じですか？

きしわだ自然資料館には 2016 年 4 月現在、学芸員有資格者が館長を含め 4 名勤務しています。専門は植物、昆虫とクモ、鳥類、海洋生物とさまざまですが、地域に根ざした自然史博物館の使命である「地域の自然全般を調査研究し、利用者に伝える」を遂行するには、より広い分野の専門家が必要です。また、これらの成果を伝えるには、学校園やその他生涯学習施設などとの連携も欠かせません。しかし、現在の職員数ではこれらの使命をすべて遂行することはできません。そこで、自然資料館における学芸的な事業に対する指導助言、サポートを行うために、自然資料館開館と同時に誕生したのが、「きしわだ自然資料館アドバイザー制度」です。

アドバイザーは 1995 年から、自然資料館の学習活動や情報提供などの機能充実、地域サービスの向上に資するため設置されています。現在、5 名のアドバイザーが、それぞれの専門分野に関するサポートやアドバイスをを行っています。アドバイザーの具体的な業務は多岐にわたります。資料収集や調査研究など、博物館学芸員が行う業務のほとんどを行っているともいえます。そのなかでも、学校の先生との関連が深いものをいくつか紹介したいと思います。

### 2. 学校園見学のご案内

自然資料館に学校園行事で見学に来たことのある方はご存じかと思いますが、自然資料館の展示を団体で見学される場合、希望があれば、アドバイザーが説明を行います(図 1)。アドバイザーには学校教員経験者もいるので、子どもにもわかりやすく説明することができます。また、予約段階で希望する内容に沿った説明をすることも可能です。過去には小学校 6 年生理科の単元「大地のつくりと変化」の導入のための見学として、地域の地質や化石について詳しく説明してほしい、幼稚園でメダカを育てている



図 1. 常設展示の案内をしているところ。



図 2. 小学校での化石に関する出前授業.



図 3. アドバイザーによる教員研修のようす.

ので、メダカや身近に見られる魚の説明を多めに盛り込んでほしい、といったご要望に沿って説明を行ったことがあります。自然資料館には、まちたんけんや社会見学、遠足といった用途で見学に来られることが多いのですが、それ以外の目的にも可能な限り対応しますので、気軽にご相談ください。

### 3. 学校の授業やクラブ活動への出講

学校の授業で児童・生徒の理解を高めるために、実物を見せたり、専門家の話を聞かせたりしたい場合、自然資料館では学芸員だけでなく、アドバイザーもゲストティーチャーとしておうかがいすることがあります（図 2）。その一例としては、小学校 5 年生理科「動物の誕生」で、地元で採集したメダカを用い、オス・メスの違いや卵を観察したり、ため池で採集したプランクトンを顕微鏡で観察したりしたというものがあります。ほかに小学校 6 年生理科「大地のつくりと変化」の授業として教科書の理解を助ける身近な地域の情報を交えた解説を聞きつつ、自然資料館が所蔵する化石や岩石の実物標本を実際に触ったり、化石のレプリカを作成したりするような体験的なプログラムなども用意しています。

また、学校の授業だけでなく、クラブ活動や教員研修での出前授業も承っています（図 3）。チリメンモンスターはもちろん、校庭の生き物さがしや生き物調査など、こういうときに専門家がいたらよりよいものになるだろうと思われる学校活動がありましたら、できる限りお応えしたいと考えていますので、ぜひご相談ください。

### 4. 幼稚園・保育所などへも

今のところ数は多くないのですが、未就学児童向けのプログラムも用意しています。たとえば、生きた生き物のふれあい体験や、チリメンモンスターをテーマにした人形劇、虫めがねで作った小さな生き物観察など、さまざまな内容に対応することができます。

### 5. ぜひご活用を！

現在在籍している 5 名のアドバイザーは、植野敏郎（元大阪府立岸和田高等学校生物科教諭・専門はプランクトン）、濱塚博（もと岸和田市立中学校理科教員・専門は地質学）、松岡悠（大阪府立大学大学院在学中・専門は淡水魚）・田中正視（元大阪府立泉南高等学校生物科教諭・専門はブナ林と大阪湾）・前畑真実（専門は環境教育）の 5 名です。教員研修の講師としても派遣していますので、お気軽に自然資料館までメールなどでお問い合わせください。

（かざま みほ：自然資料館）

私は、今年度から岸和田市の郷土史担当となりました大塚祥子です。大学では日本の近世史を専攻し、主に豊臣秀吉政権について研究していました。今回は、岸和田と豊臣秀吉について述べたいと思います。

岸和田と秀吉が最も関係するのは、ねごろ さいか根来・雑賀攻めの時です。天正 12 (1584) 年、秀吉はこまき ながくて小牧・長久手の戦いで、おだのぶ織田信雄（織田信長の息子）・徳川家康と戦いました。結果としては、秀吉と織田信雄との講和によって、戦は終結したのです

が、翌天正 13 (1585) 年に入ると、秀吉は織田信雄・徳川家康の方に味方した者たちの討伐をすることにしました。その際、最初に行われたのが根来・雑賀攻めだったのです。

資料 1 は、秀吉がこばやかわたかかげ小早川隆景宛に出した書状（『大日本古文書 小早川家文書』1-283）です。そこには、「泉州岸和田表」という文字が見えます。内容としては、「来る 3 月 21 日に、私（秀吉）が紀州表に出陣する。あなたが治めている分国中の諸浦で警固けいごをしている船、全てに命令して、21 日には泉州岸和田表に着船しなさい」と隆景に命令しています。これを受けて、隆景は 3 月初めに、毛利水軍として出陣しました。

秀吉は、書状の中で「三月廿一日」に「紀州表」に行くと言った通り、天正 13 年 3 月 21 日、秀吉は本陣を率いて大坂城を発ち、岸和田に入ります。岸和田地域は、秀吉が指揮する数万の大軍で埋め尽くされました。一説には、総勢 10 万とも言われています（『岸和田市史第 3 巻』P.35）。岸和田に着いた秀吉は、ただちに軍事行動を開始し、せんごくぼりじょう千石堀 城（貝塚市）・はたけなかじょう畠中 城（貝塚市）・しゃくぜんじじょう積善寺 城（貝塚市）・ねごろじ沢城（貝塚市）など、次々に城を落としていきました。そして、23 日には根来寺（和歌山県岩出市）に陣を進め、「天カゴヤク也（てんかがやくなり）」＝空が輝く、ほどに山を焼失させてしまいました。

同年 3 月 24 日から秀吉は、太田衆（太田左近宗正を大将とする地侍衆）と根来衆の残存兵が立てこもるおおたじょう太田 城（和歌山市）を水攻めにします。そして、約 1 カ月後の 4 月 25 日に陥落させ、2 日後の 26 日に秀吉は、大坂にがいせん凱旋します。

皆さんは、秀吉が岸和田を拠点として根来・雑賀攻めを行ったことをご存知だったでしょうか。私たちが住んでいる場所に、豊臣秀吉などの歴史上の著名な人物が来たと思うと親近感が湧きますよね。歴史は一見取っ付きにくいもののように思えますが、共通点や関連性を見つけることで、教科書などに少ししか取り上げられていないことでも、興味を持つことができます。これからは、そのような気づきを発信し、みなさんにもっと岸和田の歴史の魅力を伝えていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

（おおつか しょうこ：郷土文化室）

態令啓候、仍来三月廿一日、至紀州表可令出馬候、然者、先度如申候、御分国中諸浦警固船事、不残被仰付、廿一日二至泉州岸和田表着船、尤候、御人数并水主以下兵糧米事、播州英賀二候而可申付候間、被書付可承候、尚追々可申候、謹言、  
 (天正十三年)  
 二月十三日 秀吉(花押)  
 (小早川隆景)  
 小早川左衛門佐殿

資料 1. 豊臣秀吉が小早川隆景宛に出した書状。

## Information

### ■岸和田城の展示案内■

#### 企画展「収蔵史料展-古書蹟・軸-」

寄贈された掛軸や古文書・古書蹟類などを展示しています。

日 時：2016年5月18日(水)～2016年9月4日(日)  
時 間：午前10時～午後5時(入場は午後4時まで)  
場 所：岸和田城天守閣2階展示室  
入場料：大人 300円, 中学生以下無料

### ■自然資料館の行事案内■

#### 「植物採集と標本づくり」

自由研究などにそなえて、郊外の林で植物の採集と標本づくりに挑戦しませんか? 専門家指導のもと、正しい方法を学びましょう。午前中は植物採集、午後からは標本づくりを行います。

日 時：2016年8月7日(日) 午前9時50分～午後3時  
(雨天中止)

場 所：神於山周辺(現地集合)

講 師：村上健太郎氏(名古屋産業大学准教授),  
田端敬三氏(近畿大学講師)

対 象：小学生以上(小学生は保護者の同伴が必要)

定 員：30名(定員を超えた場合は抽選)

申 込：往復はがき又は電子メールに「植物採集」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信用の宛名を書いて、7月25日(月)までに届くように、きしわだ自然資料館までお申し込みください。

### 「自由研究相談会2016」

毎年恒例、生物学と地学分野(天文・気象分野を除く)の自由研究に関する相談会を行います。採集物の名前を調べるお手伝いや、自由研究のまとめ方など、各分野の専門家がアドバイスしますので、お気軽にお越しください。

なお、この日以外の自由研究に関する相談については、必ず事前に当館までお電話などでご連絡ください。連絡なしで来られた場合、担当の専門家が不在で対応できないことがあります。

日 時：2016年8月28日(日) 午後1時30分～午後4時  
(受付は午後1時～午後3時30分)

場 所：きしわだ自然資料館 1階ホール

費 用：無料

申込方法：当日先着順

### 【きしわだ自然友の会 会員募集】

きしわだ自然友の会は、自然資料館と協力し、独自の行事や出展、会誌などを通して自然を楽しく学んでいる団体です。

自然が好きで、生物や地学をもっと楽しみたい・学びたい人は、ぜひご入会ください。未就学児の方も参加できる行事も多数あります。

学校園の授業に活用できるプログラムもあります。

- ・対 象：身近な自然に興味のある個人・家族
- ・期 間：4月1日～翌年3月31日
- ・費 用：個人会員年間2,000円(中学生以上の方が1人で入る場合)・家族会員3,000円(同居家族全員が対象)、特別会員年会費10,000円(友の会を援助してくださる人・団体)

※お願い [fromM]は、学校教職員に1部ずつお配りください。

担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願ひ申し上げます。

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしています。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

#### 連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5 きしわだ自然資料館  
TEL: (072) 423-8100 FAX: (072) 423-8101  
Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp  
自然資料館ホームページ URL:  
<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>  
(Yahoo Japan の検索で「きしわだ」と入力し、検索すれば、簡単です)